

令和5年度学校自己評価システムシート (県立狭山特別支援学校)

w 4 8

目指す学校像	教職員間の想いをひとつに、子どもの将来を見すえて成長を積み重ねられる学校
--------	--------------------------------------

重点目標	1 学習指導要領及び児童生徒の実態を踏まえた教育課程の編成 2 関係機関への理解を促進し、児童生徒の自立・社会参加を目指した教育の推進 3 地域・保護者と連携し、安心・安全で効果的な指導・支援の充実
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
令和5年度目標					令和6年度評価(1月 日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ・検査(太田ステージ等)を踏まえたプランBを作成し、改良を重ね、学習指導に生かすよう取り組んできた。さらに、内容を深めた指導の実践が求められる。 ・学習指導要領に則り、個に応じて、学部間(学年間)の指導の系統性を重視し・継続的に取り組み、連続性のある教育課程を編成する必要がある。 (分校) ・生徒の実態把握と個に応じた指導及び3年間を見通した年間指導計画を作成する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程を見直し、学習指導の充実と系統性・連続性を重視した編成の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ①保護者の共通理解や検査等を活用して組織的に実態把握を行い、プランBを作成する。 ②学部間(学年間)の連携のもとと系統性を重視し、継続的に取り組み、連続性ある学習指導を実施する。 (本校) ③教員の資質のさらなる向上のため、充実した研究、及び教職員全体の研修会を実施する。 (分校) ③生徒に実態を把握し、3年間を見通した年間指導計画と教育課程を編成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートで達成度Aの評価を得られたか。 ①プランBを実際の指導にいかせたか。 ②系統性、継続・連続性を考慮した教育課程を編成し、実施できたか。 ②自立活動の指導等、充実した日々の学習指導ができたか。 (本校) ③新テーマによる研究が行えたか。 ③今後を生かせる様々な研修会を実施できたか。 (分校) ③生徒の実態を把握できたか。 ③学習指導要領に則った年間指導計画と教育課程の編成に取り組めたか。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者への情報発信について、検討が必要である。また、支援体制を円滑にするため、関係諸機関との連携を深める必要がある。 (本校) ・卒業後の進路に対する保護者理解を深める取組を進める必要がある。 (分校) 一般就労に向けて、企業等との関係性を構築する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の取組及び教育活動の情報発信体制の確立 ・キャリア教育の視点を踏まえ、保護者の進路理解の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育活動の情報発信体制を見直し、広く教育活動への理解を深める。 ②児童・生徒の情報を共有し、関係諸機関との連携を深める。 (本校) ③分校及び入間わかさ特別支援学校と連携し、卒業後の進路に対する保護者説明会を行う。 (分校) ③企業等に広く学校の理解を求め、一般就労に向けた企業開拓を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートで達成度Aの評価を得られたか。 ①保護者・地域に本校の教育活動が深く理解されたか。 ②関係諸機関との連携が深まったか。 (本校) ③丁寧な面談の実施や保護者説明会を実施し、進路に対する理解を深められたか。 (分校) ③学校公開を3回以上、企業等への訪問を30社以上行えたか。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置に向けて検討してきた。円滑な設置・運営の体制を作る必要がある。 ・全教職員で危機管理マニュアルを共通理解して対応し、スクールバスや教育活動の中で安心・安全を確保する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の円滑な運営体制の確立 ・安心・安全な環境づくりと効果的な指導体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会の円滑な運営体制を確立する。 ②地域と連携し、学校が求める支援を検討する。 ③学校危機管理体制を確立し、防災訓練、不審者対応、発作対応、登下校時の安全確保等、児童生徒の安全な環境について全教職員で共通理解して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートで達成度Aの評価を得られたか。 ①学校運営会議目的を確認し、円滑な体制作りができたか。 ②地域と連携して、教育活動が充実できる協議ができたか。 ③登下校(バスの乗降者確認等を含む)や学習環境について保護者や関係諸機関と連携し、危機管理ができたか。 ③校内危機管理体制を再確認できたか。 			

学校関係者評価
実施日 令和6年2月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等